

■GSユアサ「VOXSTAR」対応車種一覧

【共通注意事項】

- ◇ 本装置は、V2Xシステム用の電気自動車用充放電器です。システムコントローラからの指令に従って運転します。
本装置のみで車両の充放電を行うことは出来ません。
- ◇ 本装置は「電動自動車用充放電システムガイドライン V2H DC版 EVPS-002：2014 2.1版」認証品です。
 - ・V2H対応車両のみ、充電/放電することができます。
 - ※年式・型式によっては、車両ソフトウェアの改修が必要な場合が御座いますので、事前に自動車販売店様にご確認ください。
 - ・V2H非対応車両でも、CHAdeMO認証 車両への充電は可能です。
 - ※CHAdeMO認証 車両でも、対応車種リストに記載のない接続未確認車両は充電できない場合が御座います。
- ◇ 本装置は、充電上限および放電下限到達にて自動停止しません。充電上限到達前に充電電力を、放電下限到達時に放電電力を0kWに制限して車両との接続状態を維持します。充電/放電を終了する際は、STOPボタンにて運転を終了させていただきます。
- ◇ 本装置は、車両接続後12時間が経過すると自動的に運転を終了します。(車両接続上限タイマー)
- ◇ 下表の総電力量は、本装置に接続した際の実使用可能容量とは異なります。
- ◇ 車両の仕様により、車載蓄電池の状態に応じて、車両への充電/放電できる容量が制限されます。
 - ※車両の詳細仕様については、事前に自動車販売店様にご確認ください。
- ◇ 本装置は、給電後も最低減の自走を可能にするために、車両に電力を残す仕様となっております。
 - ※下表の放電下限に到達すると、放電出力を0kWに制限して車両に電力を残します
 - ※停電時は放電下限が下表の数値の-4%に設定されます

2021年8月時点

三菱自動車工業株式会社								
車名	エクリプスクロス(PHEVモデル) ^{※1※2}	アウトランダーPHEV ^{※1※2}			i-MiEV ^{※1}		MINICAB-MiEV VAN ^{※1}	MINICAB-MiEV TRUCK ^{※1}
種別	PHEV	PHEV			EV		EV	EV
総電力量	13.8kWh	12kWh		13.8kWh	16kWh/10.5kWh		16kWh/10.5kWh	10.5kWh
年式	全年式	13年式 ^{※5}	14-18年式	19年式 ^{~※5}	10年式 ^{※3}	10年式除く ^{※4}	※4	※4
充電上限	約99%	約95%	約95%	約99%	約95%	約95%	約95%	約95%
放電下限	約25%	約45%	約25%	約25%	約30% or 約35% ^{※6}			約35%

- ※1 急速充電口が付いている車両のみ本装置を利用可能です。
駆動用バッテリーの容量維持のため、できる限り2週間に1回程度は普通充電で満充電してください。
「MiEVリモート」もしくは「三菱リモートコントロール」のうちタイマー充電とプレ空調はご使用できません。
- ※2 「アウトランダーPHEV」,「エクリプスクロス(PHEVモデル)」はエンジンがかかった状態 もしくは イグニッション ONの状態では、V2H機器による充電/放電ができません。
- ※3 「i-MiEV」の10年式は、車体番号が「HA3W-00」から始まる車両です。
- ※4 MiEVシリーズは、車体番号が以下から始まる車両と接続が可能です。
 - ・ i-MiEV : 「HA3W-**」 「HA4W-00」 「HA4W-03」 「HD4W-**」
 - ・ Minicab-MiEV VAN : 「U67V-**」 「U68V-03」 「U68V-05」
 - ・ Minicab-MiEV TRUCK : 「U68T-00」 「U68T-03」
- ※5 「アウトランダーPHEV」の13年式は車体番号が「GG2W-00」、19年式は「GG3W」から始まる車両です。
- ※6 総電力量16kWhの車両は約30%まで、10.5kWhの車両は約35%まで放電することが可能です。
蓄電池の総電力量の詳細仕様については、事前に自動車販売店様にご確認ください。

2021年8月時点

日産自動車株式会社		
車名	リーフ ^{※1}	e-NV200 ^{※1}
種別	EV	EV
総電力量	62/40/30/24kWh	40/24kWh
年式	全年式	全年式
充電上限	約95% ^{※2}	約95% ^{※2}
放電下限	約15%	約15%

- ※1 「リーフ」および「e-NV200」をご使用の場合、誤作動する恐れがあるため、EV-IT機能はご使用できません。
- ※2 環境温度、車両の状態等の諸条件により、満充電にならない場合があります。

2021年8月時点

トヨタ自動車株式会社		
車名	プリウスPHV ^{※1}	MIRAI ^{※4}
種別	PHV	FCV
総電力量	8.8kWh	—
年式	19年5月 ^{~※2※3}	※5
充電/放電可否	充電/放電	放電のみ ^{※6}
充電上限	約100%	—
放電下限	約15%	—

- ※1 プリウスPHVはエンジンがかかった状態で、充電/放電することができません。
- ※2 プリウスPHV(19年5月~)が充放電対応(V2H対応)モデルであることは、以下の事項でご確認頂けます。
型式 DLA-ZVW52 で始まる車両のうち、2019年5月に実施した改良モデル(乗車定員5名)であり、急速充電インレット(外部給電機能「V2H付」)オプション装備車両である。
※詳細は自動車販売店様にご確認ください。
- ※3 車両仕様により、充電/放電時の電力が6kW以下に制限されます。
- ※4 MIRAIはFCV(燃料電池自動車)であるため、V2Hガイドライン上で以下の制約を受けます。
 - ・充電ができません
 - ・停電時のみ放電することが出来ます
 本装置もV2Hガイドラインに準拠し、停電時のみ放電できる仕様となっております。
- ※5 型式 ZBA-JPD10 で始まる車両は接続可能です。
- ※6 MIRAIで放電する場合、VOXSTARの表示画面には電池容量が常に50%と表示されます。(車両送信値を表示)
実際に使用できる容量とは異なりますのでご注意ください。詳細は、車両の取扱説明書をご確認ください。